

〔大和本草九雜草〕酸模 葉モ花モ羊蹄ニ似テ小ナリ味酸シ、村民葉ヲスリクダキ醋ニ代ヘ魚膽ニ和シテ食ス、西土ノ人ハスイバト云畿内ニハスイダウト云山ニモ水ニモ生ズ、冬モ葉不枯。

〔和漢三才圖會水草〕酸模 山羊蹄 榔 山大黃 薤蕪 酸母 當藥 和名須之俗云須加牟保、

本綱酸模生山岡上平地亦有根葉花形並同羊蹄但葉小味酸爲異人亦采食其英其根赤黃色微苦能治疥癬、

按酸模葉似渡葵而莖赤味酸細赤花作穗根如上說、

〔重修本草綱目啓蒙十六〕酸模 ○ シ。イ。バ。ス。イ。ジ。豫。州。ス。イ。ジ。グ。サ。ス。ガ。ナ。仙。臺。ス。カ。ナ。同。上。
ス。カ。シ。越。後。ス。イ。コ。同。上。ス。ガ。ン。ボ。ウ。泉。州。ス。カ。ン。ボ。江。戸。ス。ゴ。ボ。ウ。勢。州。ス。イ。ゴ。ン。
ボ。ス。イ。ス。イ。ゴ。ン。ボ。ス。ガ。ン。ボ。共。ニ。ス。イ。バ。ス。大。坂。ス。イ。バ。ラ。丹。後。ス。ツ。ボ。グ。サ。讚。州。
ス。シ。ン。ザ。イ。雲。州。シ。シ。ザ。イ。備。後。ス。イ。ク。バ。龍。州。ア。カ。ジ。攝。州。ア。カ。ギ。シ。ギ。シ。筑。前。ス。シ。
多。識。ス。イ。ト。ウ。グ。サ。同。上。ス。イ。ゴ。キ。木。曾。ス。イ。コ。キ。上。野。ス。ツ。カ。ホ。ウ。常。州。ス。イ。ベ。ラ。
イ。ヌ。ダ。イ。ワ。ウ。豫。州。 一名杜鵑脚黃連藥 雜記

水邊及山足ニ多シ、形狀甚ダ羊蹄ニ似テ小ク、葉ノ味酸シ、冬ニ至レバ葉小ニナリ、紫色或ハ紅色ニ染テ觀ツベシ、春暖ニシテ綠葉ヲ出ス漸ク薹ヲ抽テ花ヲ開キ實ヲ結ブコト皆羊蹄ニ同ジ、只其色紅或紫ナルヲ異トス、根ハ羊蹄ヨリ細クシテ多ク簇ル、

〔草木育種後編下品〕酸模根本草 俗にすかんばう、和蘭にてシユーリングといふ處々近野に生ず、莖に赤みあり、噛む時は酸味あり、莖葉根を堀り、清涼の藥材とす、羊蹄根俗に草大黃といふ、甚似て此は莖に青色、根に黄みあり、酸味なし、自ら採りて用ふべし、肆上のものは眞偽不分明なり、予喜○阿部 嘗て是を疑ふ、故に所々にて買ひ試むるに、肆上のものは皆羊蹄と酸模と甚混雜せり、畦に